

当院におけるポリファーマシー対策について

令和8年6月

札幌花園病院 薬局

近年では高齢化に伴いポリファーマシーの問題が指摘されています。ポリファーマシーとは多剤服用により薬物有害事象のリスク増加や服用間違い、服薬忘れなどの問題につながる状態を指します。特に高齢者では生理機能の低下、複数の併存疾患を治療するために内服する薬剤数が増えることが多くなり、薬物相互作用などの薬物関連有害事象が生じやすい状態にあります。

薬局では入院時の持参薬確認などを通じて、ご自宅できちんと内服できていたか、患者さまの代謝機能（腎機能、肝機能）、体格（体重）、年齢などを確認し、適切な投与量であるかの確認や、医師の指示もとの薬剤数の調整や代謝経路（腎臓、肝臓）に負担をかけない薬剤への変更提案など、有効性・安全性などの様々な視点で患者さまの薬物療法を支援しています。